

全国大会を振り返って（試合経過から）

球技部 水本剛志

今年度は中学生から理療科まで、12名の生徒が球技部に所属しています。年齢は12歳から54歳まで、男子5名、女子7名というメンバーです。年齢差はありますが、主将（高3女子）を中心に、とても仲の良いチームです。

夏季休業中も全国大会に向けて10回ほど練習を行いました。この夏は暑さも特別で、会津若松や白河など遠方の生徒も多い中、家族の協力を得ながら練習に参加しました。

大会について

(1) 8月22日（水）

台風一過の福岡は38度の猛暑、14時半に会場に到着し公式練習に臨みました。17時から行われた組み合わせ抽選で、福島はAブロックで地元福岡と強豪大阪南と予選リーグを戦うことになりました。



(2) 8月23日（木）

【予選リーグ】

第1試合 対 大阪府立大阪南視覚支援学校



第1セット 15-10

第2セット 15-6で大阪南の勝利。

広い会場で音が反響し全体に動きが硬いまま、流れをうまく掴むことができず、あっという間に2セットを取られてしまいました。相手前衛の強いスパイクにも苦しめられ、福島らしい攻め方がほとんどできませんでした。

第2試合 対 福岡県立福岡高等視覚特別支援学校

第1セット 17-15

第2セット 15-13で福岡の勝利。

相手は地元ということで体育館全体が応援団という away な雰囲気でした。試合が始まりました。1点を取り合う展開で、相手をぎりぎりまで追い詰めましたが、不運なミスが重なり2セットを取られてしまいました。

1セット目が取れていれば2セット目の展開も大きく変わっていたのではないかと1セット目の最後が悔やまれました。しかし生徒たちは最後まであきらめることなく、東北代表として立派に戦いました。今年始めたばかりの1年生がスパイクの決まらないエースを「最後まであきらめるな！」と鼓舞する姿が印象的でした。



(3) 8月24日(金)

【交流戦】 交流戦は1セット先取の短縮バージョンで試合を行いました。

第1試合 対 北海道札幌視覚支援学校



15-10で福島の勝利

中学生を中心とした来年を見据えた女子チームで臨みました。相手も中学生中心のチームでお互いかなり緊張している様子でしたが、高校生に励まされながら少しずつ福島らしい戦いをする事ができ、勝利する事ができました。

第2試合 対 石川県立盲学校

15-6で福島の勝利

全員笑顔で、東北大会優勝の時のような理想的な戦いで勝利できました。

【決勝戦】

決勝戦は、2連覇を狙う埼玉と大阪南との戦いでした。手に汗握る展開で、どちらが勝ってもおかしくない試合でしたが、第1セット16-14、第2セット11-15、第3セット8-11、よって、セットカウント1-2で埼玉県立特別支援学校塙保己一学園が2連覇を達成しました。

【まとめ】

全国大会では、選手が本来持っている実力を発揮できず、残念な結果に終わりました。しかし部員全員が全国大会のコートに立つことができ、その独特の緊張感を味わうことができました。厳しい試合の中で、生徒一人一人がチームで何をすべきか考え、それぞれの立場で全力プレイができたことは、必ず今後の成長につながるものと考えます。

強いスパイクへのレシーブ力の強化、サーブミスなど基本的なミスを減らす、次は必ず勝つなど、各自が課題や決意を新たに、話し合いながら、来年度に向けた練習が始まりました。全国で視覚支援学校の生徒数が激減する中、フロアバレーボール全国大会を通じて、学校生活だけでは味わうことのできない貴重な体験をすることができました。

最後になりましたが、今年度も多くの方々より多大なるご支援をいただき、大会に参加することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。第3回大会は東北岩手で行われます。3年連続出場できるよう、チーム一丸となり練習を頑張っていきます。ありがとうございました。



【球技部生徒より】

この度、皆様のご支援のおかげで、全国大会福岡へ行くことができました。本当にありがとうございました。大会では、私たちのチームスローガンである『つなぐ』を基にチームプレーをし、福島らしい試合をすることができました。

一人一人、緊張と周りの雰囲気によって圧倒されてしまい、本来の実力を存分に発揮することができたわけではありませんでした。全員が最後まで笑顔でプレーすることができ、堂々たる姿だったと、私自身チームメイトを誇りに思っています。



来年以降もフロアバレーボールの全国大会は続いていくので、まずは東北大会優勝を目指し、全国大会へ再びチャレンジできるよう、みんなで努力していきたいと思います。これからもご支援よろしくお祈りします。

ゲームキャプテン 普通科3年 鶴岡 涼

皆様には、全国盲学校フロアバレーボール大会参加のために、たくさんのご支援をありがとうございました。



私は、昨年度の埼玉大会に続き、2回目の全国大会出場でしたが、やはりとても緊張しました。

初日の公式練習の後、主将として抽選会に参加し、Aグループ、強豪大阪と地元福岡とのリーグ戦が決まりました。

大阪戦は自分らしいプレーができず、終わってしまいましたが、声を掛け合いながら福島の持ち前の元気で、最後まであきらめずに臨めました。

福岡戦は、1試合目の雰囲気を引きずってしまい、思うようなプレーができませんでした。悔しい結果になってしまいましたが、最後の瞬間までチームプレーができたこと、これは他のチームには負けなかったと思います。

今年は中学生3名も含めてのチーム構成でしたが、共に泣いたり笑ったりすることができたチームメイトには感謝したいですし、このチームで試合ができたことを心からよかったと感じています。このような経験ができたのも、皆様の心温かいご支援のおかげです。本当にありがとうございました。来年度に向けてチーム一同一生懸命練習に励みたいと思います。今後とも応援よろしくお祈りします。



球技部主将 普通科3年 常松 桜